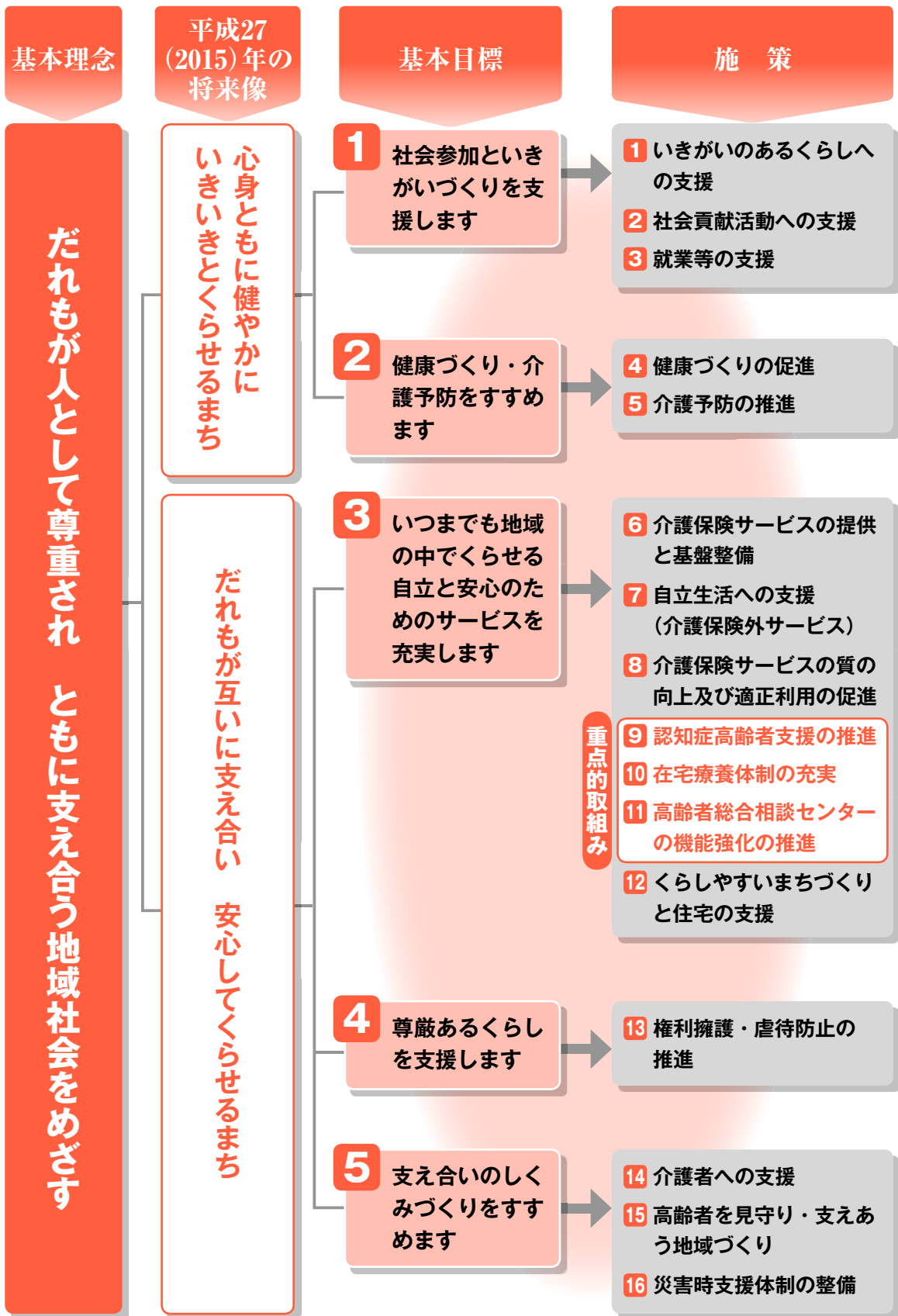


第3章

施策の推進

第1節

高齢者保健福祉施策の体系



施策別事業一覧

◎:第二次実行計画 ☆:新規事業

基本目標1 社会参加といきがづくりを支援します	
施策1	いきがいのある暮らしへの支援 …… P34
◎1	高齢者の社会参加といきがづくりの拠点整備
2	高齢者クラブへの支援・助成
3	敬老会
4	高齢者福祉大会
5	ライフアップ講座
6	生涯学習フェスティバル
7	区民プロデュース講座
8	ふれあい・いきいきサロン
施策2	社会貢献活動への支援 …… P39
◎1	高齢者の社会参加といきがづくりの拠点整備(再掲)
◎2	生涯学習・地域人材交流ネットワーク制度の整備
3	高齢者福祉活動事業助成等
4	高齢者クラブによる見守り活動
5	介護支援ボランティア・ポイント事業
6	ボランティア・市民活動センターの地域活動支援事業
施策3	就業等の支援 …… P44
◎1	障害者、高齢者、若年非就業者等に対する総合的な就労支援
2	シルバー人材センターへの支援
基本目標2 健康づくり・介護予防をすすめます	
施策4	健康づくりの促進 …… P49
1	いきいきハイキング
2	ふれあい入浴
3	湯ゆう健康教室
4	元気館事業の推進
5	いきいきウオーク新宿
6	健康手帳の交付
7	健康診査
8	がん検診
9	歯科健康診査
10	健康相談
11	精神保健講演会
12	普及啓発用リーフレット作成
13	精神保健相談(うつ専門相談を含む)

	<ul style="list-style-type: none"> 14 健康教育 15 骨粗しょう症予防検診 16 歯科衛生相談(専門相談) ☆17 60歳からのこころとからだのメンテナンス講座 18 レガス健康づくり事業(レガスポ!) 19 団体等と連携したスポーツ普及事業(①健康ウォーキング②夏休みラジオ体操) 20 新宿シティハーフマラソン・区民健康マラソン 21 運動施設の管理運営 	
施策5 介護予防の推進		…… P55
	<ul style="list-style-type: none"> 1 介護予防普及啓発事業 2 地域介護予防活動支援事業 3 パワーアップ高齢者選定事業 4 介護予防ケアプラン作成 5 介護予防ケアマネジメントの質の向上 6 介護予防教室 7 介護予防事業の評価 8 認知症・うつ・閉じこもり予防事業 	
基本目標3 いつまでも地域の中でくらす自立と安心のためのサービスを充実します		
施策6 介護保険サービスの提供と基盤整備		…… P62
	<ul style="list-style-type: none"> ◎1 特別養護老人ホームの整備 ◎2 地域密着型サービスの整備 ◎3 単独型ショートステイの整備 4 医療介護支援 5 特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)の入所調整 6 介護保険サービス 7 地域密着型サービス事業者の指定 8 在宅復帰リハビリテーション連携事業 	
施策7 自立生活への支援(介護保険外サービス)		…… P67
	<ul style="list-style-type: none"> 1 配食サービス 2 理美容サービス 3 寝具乾燥消毒サービス 4 回復支援家事援助サービス 5 高齢者おむつ費用助成 6 補聴器・杖の支給 7 高齢者緊急通報システム 8 高齢者火災安全システム 	

	<ul style="list-style-type: none"> 9 住宅改修・設備改修費・福祉用具購入費助成事業 10 通所サービス利用者の食費助成 11 老人性白内障特殊眼鏡等の費用助成 	
施策8	介護保険サービスの質の向上及び適正利用の促進	…… P71
	<ul style="list-style-type: none"> 1 介護保険サービス事業者協議会への支援 2 介護保険サービス事業所向け研修 3 福祉サービス第三者評価の受審費用助成 4 介護保険サービス事業者等表彰制度 5 介護保険サービスに関する苦情相談 6 介護給付適正化の推進 7 介護保険サービス事業者に対する指導検査 8 介護保険制度の趣旨普及 9 介護モニター制度 10 「しんじゅく介護の日」の開催 	
施策9	認知症高齢者支援の推進(重点施策)	…… P76
	<ul style="list-style-type: none"> ◎1 認知症サポーター推進事業(認知症サポーターの活動拠点の整備) ◎2 認知症・もの忘れ相談 ◎3 認知症介護者支援事業 4 認知症講演会 5 認知症普及啓発用パンフレット等作成 6 高齢者総合相談センターでの相談 7 徘徊高齢者探索サービス 8 徘徊高齢者緊急一時保護事業 9 認知症高齢者の介護者リフレッシュ等支援事業 10 認知症医療・地域福祉連携強化事業 11 認知症サポーター養成講座 12 普及啓発用リーフレット作成 13 精神保健相談 	
施策10	在宅療養体制の充実(重点施策)	…… P87
	<ul style="list-style-type: none"> 1 地域連携推進事業 2 リハビリテーション連携モデル事業 3 病院職員の訪問看護ステーションでの実習研修 4 訪問看護ステーション人材確保 5 かかりつけ医機能の推進 6 かかりつけ歯科医機能の推進 7 緊急一時入院病床の確保 8 在宅療養に対する理解促進 	

	<p>9 在宅療養相談窓口の運営</p> <p>☆10 がん患者・家族のための支援講座</p>	
<p>施策11 高齢者総合相談センターの機能強化の推進(重点施策)</p>		<p>…… P96</p>
	<p>◎1 高齢者総合相談センターの機能強化</p> <p>2 ケアプラン評価会の開催</p> <p>3 ケアマネジャーネットワークへの支援</p> <p>4 ケアマネジャーホットラインの実施</p> <p>5 事業別・課題別研修の実施</p> <p>6 地域包括ケア推進会議の開催</p>	
<p>施策12 暮らしやすいまちづくりと住宅の支援</p>		<p>…… P102</p>
	<p>◎1 支援付き高齢者住宅の整備</p> <p>◎2 道路のバリアフリー化</p> <p>◎3 清潔できれいなトイレづくり</p> <p>◎4 みんなで考える身近な公園の整備</p> <p>◎5 ユニバーサルデザイン・ガイドラインの推進</p> <p>◎6 建築物等耐震化支援事業</p> <p>◎7 細街路の拡幅整備</p> <p>◎8 高齢者等入居支援</p> <p>9 シルバーピアの管理運営</p> <p>10 都市型軽費老人ホーム建設事業助成等</p> <p>11 鉄道駅のバリアフリー化</p> <p>12 人にやさしい建築物づくり</p> <p>13 ワンルームマンション条例</p> <p>14 区営住宅の管理運営</p> <p>15 住宅相談</p> <p>16 住み替え居住継続支援</p>	
<p>基本目標4 尊厳ある暮らしを支援します</p>		
<p>施策13 権利擁護・虐待防止の推進</p>		<p>…… P110</p>
	<p>◎1 成年後見制度の利用促進</p> <p>2 悪質商法被害防止ネットワーク</p> <p>3 消費者講座</p> <p>4 老人福祉施設への入所等措置</p> <p>5 高齢者の権利擁護の普及啓発</p> <p>6 成年後見審判請求事務等</p> <p>7 虐待の早期発見・相談</p> <p>8 高齢者の権利擁護ネットワークの構築・運営</p> <p>9 地域福祉権利擁護事業(日常生活自立支援事業)</p>	

基本目標5 支え合いのしくみづくりをすすめます	
施策 14 介護者への支援	…… P118
◎ 1 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進	
2 家族介護者教室・交流会	
3 家族介護者外出プラン	
4 高齢者緊急ショートステイ事業	
5 介護者の休養	
6 家族介護慰労金の支給	
7 男性の育児・介護サポート企業認定モデル事業	
施策 15 高齢者を見守り・支えあう地域づくり	…… P123
◎ 1 地域安心カフェの展開	
2 民生委員による相談活動	
3 ふれあい訪問・地域見守り協力員事業	
4 ちょこっと困りごと援助サービス	
5 高齢者の孤独死防止に向けた取組みの推進	
6 暮らしのサポート事業	
7 地域ささえあい活動助成金事業	
8 介護支援ボランティア・ポイント事業(再掲)	
9 ふれあい・いきいきサロン(再掲)	
施策 16 災害時支援体制の整備	…… P129
1 災害時要援護者対策の推進	
2 災害時要援護者名簿の活用	

「施策の推進」の見方

基本目標

1

社会参加といきがづくりを支援します

基本目標は1～5まであります

施策 1 いきがいのある暮らしへの支援

施策 2 社会貢献活動への支援

施策 3 就業等の支援

各基本目標を支える施策

地域活動への参加などを通して社会とのかかわりを持ち続けていくことは、その人らしい生き生きとした暮らしの継続につながると考え指標としました。

指標を設定した理由

指標名	現状(平成22年度)	目標(平成26年度)
【調査】 地域活動参加者の割合 (一般高齢者調査)	23.7%	30%

注) 【調査】とあるのは、「高齢者の保健と福祉に関する調査」の調査項目を表します。

本計画では、基本目標ごとに進捗状況(成果)を評価するための「指標(数値目標)」を設定しています。「基本目標」を達成するために目指す数値を示しています。

基本目標

1

社会参加といきがいつくりを支援します

施策 1 いきがいのある暮らしへの支援

施策 2 社会貢献活動への支援

施策 3 就業等の支援

地域活動への参加などを通して社会とのかかわりを持ち続けていくことは、その人らしい生き生きとした暮らしの継続につながると考え指標としました。

指 標 名	現状(平成22年度)	目標(平成26年度)
【調 査】 地域活動参加者の割合 (一般高齢者調査)	23.7%	30%

注) 【調査】とあるのは、「高齢者の保健と福祉に関する調査」の調査項目を表します。

高齢者が地域において、いきいきと活動できるよう活動の場を整備します。また、多様化するニーズに応じた活動へのきっかけづくりや人材育成などを支援し、高齢者の自己実現の機会の拡充を図ります。

1 現 状

いきがいの感じ方は人様々ですが、「高齢者の保健と福祉に関する調査」の一般高齢者調査では、趣味や仲間づくり、家族とのだんらんにはいきがいを感じるという回答が多くありました。

ことぶき館等の高齢者施設で自主活動の支援をしているほか、生涯学習施設等でも様々な内容で講座や講習会などを実施するなど、機会・場の提供を行うとともに、地域の支えあいによるいきがいつくりを支援しています。

① 高齢者が活動しやすい環境づくり

- 区では、ことぶき館を地域に配置し、高齢者の趣味の活動や仲間づくりの場の支援を行ってきました。しかし、高齢者のライフスタイルやニーズの多様化、介護予防や体力づくりの取組みの必要性、高齢者の社会貢献活動の拠点の必要性の高まりなど、社会状況の変化に対応するため、平成20年度から、現在の機能を維持しつつ主に区民相互の交流の拠点としての地域交流館と、ボランティアなどの社会貢献活動の場としての機能を付加したシニア活動館へ、それぞれ機能転換を進めています。
- 機能転換の際には、できるだけバリアフリー化を行い高齢者の利用しやすい環境整備を行うとともに、指定管理者制度^{*7}を導入し、民間事業者のアイデアを活かした運営に切り替えています。
- シニア活動館及び地域交流館の整備数は、平成23年度にシニア活動館を2館、地域交流館を7館にすることを目標にしていますが、この目標を達成しています。

② 生涯学習の視点から

- 高齢者を含め幅広い世代の区民の活動の場として、生涯学習館が6館、地域センターが10か所あり、活発に活動が展開されています。
- 地域活動に関する情報は、各地域の掲示板で情報発信しています。

^{*7} 「公の施設」の管理を、地方公共団体に代わり、指定された民間企業や公益法人等が行う制度。

3 地域の支えあいから

- 地域にはボランティアによる自宅や公共施設を活用したふれあい・いきいきサロンがあり、仲間づくりと手芸や料理などそれぞれ特色ある活動を行って、高齢者のいきがいくりを支援しています。
- ふれあい・いきいきサロンは、平成23年度に60サロンにすることを目標にしていたが、平成23年12月末で61サロンとなっています。

平成22年度「高齢者の保健と福祉に関する調査」結果に見る新宿区の現況

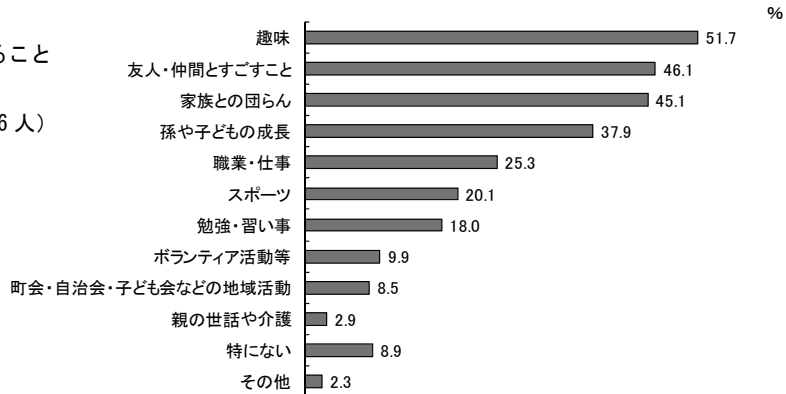
いきがいは「趣味」「友人・仲間とすごすこと」

65歳以上の一般高齢者がいきがいを感ずることは、「趣味（51.7%）」が最も多く、次いで「友人・仲間とすごすこと（46.1%）」「家族との団らん（45.1%）」の順となっています。【一般高齢者調査】

40歳～64歳の方についても、同様に「趣味（56.8%）」が最も多く、次いで「家族との団らん（54.3%）」「友人・仲間とすごすこと（44.0%）」「職業・仕事（43.8%）」の順となっています。【第2号被保険者調査】

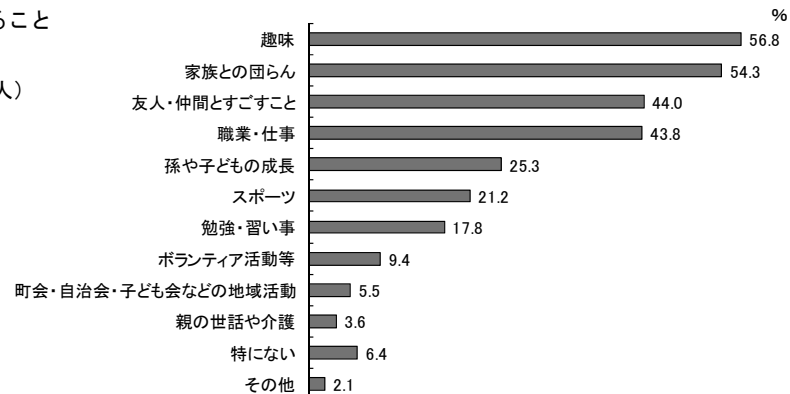
【一般高齢者調査】

いきがいを感ずること
(複数回答)
(回答者数=2,626人)



【第2号被保険者調査】

いきがいを感ずること
(複数回答)
(回答者数=822人)



2 課題

- 新たないきがい活動や介護予防活動、ボランティアなどの社会貢献活動にも対応できるよう、ことぶき館の機能転換を進める必要があります。機能転換の際には、高齢者が安全に活動できるよう、バリアフリー化などの施設整備をする必要があります。
- 定年退職などにより新たに仲間づくりや趣味活動をしたいと思っている高齢者が、身近な地域で気軽に参加できるようなきっかけづくりが必要です。機能転換をした施設には指定管理者制度を導入し、民間事業者のノウハウを生かした魅力のある事業展開をする必要があります。
- 様々な経験・能力をもった高齢者が自ら企画して、広く参加を募って、活動を広げていくための場やノウハウを共有できるしくみが必要です。
- 地域活動に関する情報共有のしくみを工夫していく必要があります。
- ふれあい・いきいきサロンの後継者の育成と多世代の参加ができるよう、運営支援やPR等の支援をする必要があります。

3 今後の取組みの方向性

1 いきがい活動の支援と拠点整備

- 既に機能転換を行ったシニア活動館2館、地域交流館7館に加え、さらに現在のことぶき館を機能転換し、高齢者のいきがい活動や仲間づくりの場の充実を図るとともに、できるだけバリアフリー化を行うなど、高齢者が利用しやすい環境整備を進めます。
- シニア活動館と地域交流館をいきがい活動の拠点として、新宿いきいき体操などの介護予防活動を推進するほか、趣味活動や地域活動、仲間づくりのきっかけとなるような特色のある事業を指定管理者と連携しながら展開します。

2 新たな参加者を募るための周知・プログラム改善

- 地域センターや生涯学習館などで行っている事業や団体の紹介などを、イベント時や機関誌などを通して、より一層の周知を図ることにより、参加を促し、いきがいを持った高齢者を増やすことに努めます。また、区民自らがプロデュースした講座に高齢者が新たに参加しやすいように制度設計を行います。

3 地域の支えあいへの支援

- ふれあい・いきいきサロンの活動を広く周知し、後継者の発掘を行うとともに、拠点となる場所の新規開拓を行っていきます。

4 施策を支える事業

○新宿区第二次実行計画(平成24～27年度)の計画事業

高齢者の社会参加といきがづくりの拠点整備 (福祉部高齢者福祉課)		
ことぶき館を、ボランティアなど社会貢献活動の拠点とする新たな機能を加えた「シニア活動館」と、地域での仲間づくりや介護予防などに取り組む場となる「地域交流館」に整備していきます。	23年度末見込	26年度 目標
	地域交流館 7館	地域交流館 14館

○その他の事業

事業名(担当課)	事業概要
高齢者クラブへの支援・助成 (福祉部高齢者福祉課)	地域の高齢者が老後の生活を健全で明るいものにするため、自主的に組織して運営する高齢者クラブ及び高齢者クラブ連合会の事業費の一部を助成します。
敬老会 (福祉部高齢者福祉課)	77歳以上の高齢者を演芸などの催しに招待し、長寿を祝います。
高齢者福祉大会 (福祉部高齢者福祉課)	高齢者クラブ会員及びことぶき館等の利用者が、日頃研鑽した唄や踊りを発表するため、年1回、秋季に開催します。
ライフアップ講座 (新宿未来創造財団)	生涯学習に対する多様なニーズに応えるため、年代・目的・目標別など多様なカテゴリーのプログラムを実施するとともに、定期的な学習機会の提供による、新しい仲間づくりの場とします。
生涯学習フェスティバル (新宿未来創造財団)	生涯学習活動者の日頃の文化芸術活動の成果を発表するとともに、区民に鑑賞の場を提供します。
区民プロデュース講座 (新宿未来創造財団)	区内で活動する自主活動団体並びに民間活動団体の地域を対象とした区民講座等や事業へ支援を行うことで、団体の活動の活性化を図るとともに、普段の活動を地域に還元するしくみづくりを行い、同時に多様な区民ニーズに対応していきます。
ふれあい・いきいきサロン (新宿区社会福祉協議会)	地域住民の誰もが気軽に参加でき、高齢者の閉じこもり・引きこもりの予防や地域交流・異世代交流などにもつながるサロンの普及と参加を促します。

5 指 標

指 標 名	現 状 (平成22年度)	目 標 (平成26年度)
ことぶき館・地域交流館 の利用登録者数	4,457人	5,000人

施策2

社会貢献活動への支援

高齢者が永年培ってきた経験・知識を地域で社会貢献活動などに結びつけることができるよう支援を行います。

また、高齢者自らが主体的に活動できるよう、ボランティア活動や地域活動などの社会貢献活動の拠点となる場の整備を図ります。

1 現 状

① ことぶき館の機能転換

- 区では、ことぶき館を、これまでの自主活動の場としての機能を維持しつつ、高齢者の社会貢献活動の拠点として、これから新たに地域社会に参加する人たちが、いきがいきづくり、健康づくり、社会貢献活動等、多様な活動に利用できるようにシニア活動館として機能転換をすすめています。
- シニア活動館の整備数は平成23年度に2館を目標としていましたが、ことぶき館の機能転換により、ボランティアなどの社会貢献活動の場として2館がシニア活動館に転換し、目標達成しています。

② 自主的活動への支援

- 高齢者の生活支援、介護予防やいきがいと健康づくりに関する活動等を行う個人と団体に対し、基金利子等による高齢者福祉活動事業助成を行っています。地域での自主活動としては、ボランティアによる会食方式の食事サービス等が行われています。
- 平成21年度から開始した介護支援ボランティア・ポイント事業は、ポイントが貯まることで、よりやりがいを感じることを目指した事業です。
- 「高齢者の保健と福祉に関する調査」によると、65歳以上の高齢者で、現在、地域活動（町会・自治会、子供会など）やボランティア活動等を、「現在、継続的にしている」「時々している」を合わせると、23.7%となっています。

③ 新宿区社会福祉協議会等によるコーディネート

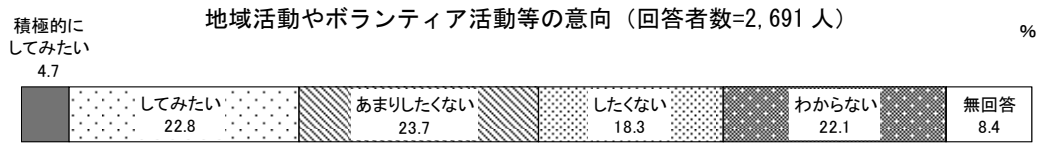
- 社会福祉協議会内のボランティア・市民活動センターでは、個人や団体の希望に沿った活動の調整を行い、活動したい方、活動してほしい方を結びつけ、地域活動への参加をすすめています。また、シルバー人材センターにおいても、社会参画委員会を中心に、社会貢献活動を実施し、多くの実績が上がっています。

平成 22 年度「高齢者の保健と福祉に関する調査」結果に見る新宿区の現況

地域活動等は 3 割が参加の意向、半数が経験なし

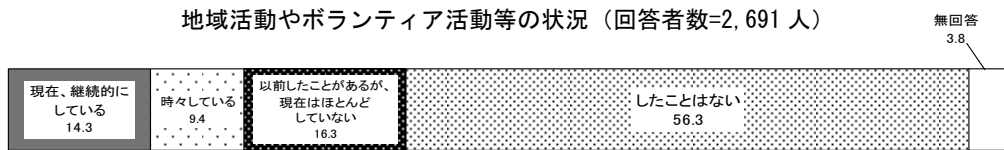
65歳以上の一般高齢者に対する「あなたは、今後、地域活動やボランティア活動等をしてみたいですか?」という質問に対して、「積極的にしてみたい (4.7%)」「してみたい (22.8%)」と回答した人を合わせると、参加したいという意向があったのは約3割となっています。【一般高齢者調査】

【一般高齢者調査】



一方、実際の地域活動やボランティア活動等の状況については、「現在、継続的にしている (14.3%)」「時々している (9.4%)」と回答した人を合わせると、現在活動しているのは約2割であり、「したことはない」と回答した人は56.3%となっています。【一般高齢者調査】

【一般高齢者調査】

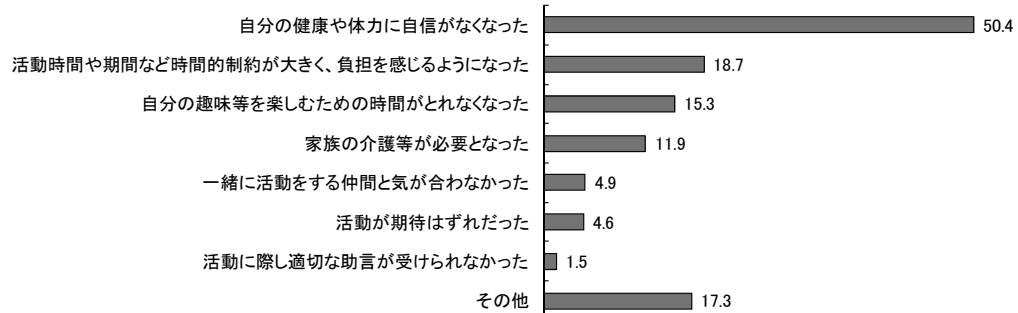


以前していた地域活動を現在していない理由は「健康や体力に自信がない」

地域活動等を以前していたが、現在はしていないと回答した方の理由は「自分の健康や体力に自信がなくなった (50.4%)」が最も多くなっています。【一般高齢者調査】

【一般高齢者調査】

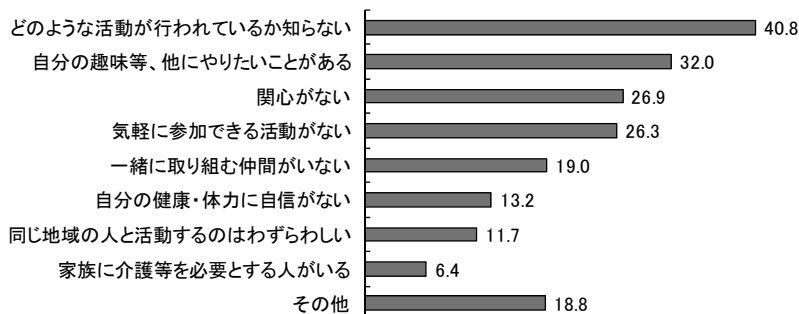
現在、地域活動やボランティア活動等をしていない理由 (複数回答) (回答者数=411 人)



なお、40歳から64歳までの方が地域活動等をしたことがない理由は、「どのような活動が行われているか知らない（40.8%）」が最も多くなっています。【第2号被保険者調査】

【第2号被保険者調査】

現在、地域活動やボランティア活動等をしたことがない理由（複数回答）（回答者数=532人）



2 課題

- シニア世代（50歳以上）を含む高齢者が、身近な地域で自らの力を活かし、多様な社会貢献活動に気軽に取り組むことができるよう、活動拠点の整備を図る必要があります。また、地域でボランティア活動等を行う個人や団体が継続して活動できるよう支援を行う必要があります。
- ボランティア活動や社会貢献活動等を今後のいきがいとしたいと考えている人の希望を実際の活動に結びつけていくことが、いきがいづくりにも、地域での支えあいの輪の充実にも必要です。
- 人材育成のための講座等を実施するとともに、修了生や新宿未来創造財団の登録者など、活動希望者と地域のニーズを幅広く調整できるしくみづくりが必要です。
- 地域で活動したい人を対象に、一人ひとりの自己実現の意向に沿った形で地域活動へ参加できるよう、情報提供等のしくみづくりが必要です。
- 身近な地域から広域の活動まで、様々な分野の活動主体を結び、協働の橋渡しを行うとともに、分野や目的など必要に応じたネットワークづくりの支援を充実させることが必要です。また、ボランティア活動等へのきっかけづくりを行っていきます。

3 今後の取組みの方向性

① 活動拠点と自主活動への支援

- シニア世代（50歳以上）を含む高齢者が、身近な場所で自主的な地域活動ができるよう、ことぶき館のシニア活動館への機能転換を推進します。
- シニア活動館では、地域ボランティア団体による食事サービスができる調理室を整備するなど、様々な社会貢献活動の拠点機能の充実を図ります。また、地域活動やボランテ

ィア活動に意欲のある高齢者等の、実際の活動につながるような講座等を、指定管理者と連携しながら展開します。

- ボランティア活動等を行う自主団体が地域で活動できるよう、高齢者福祉活動事業助成等により支援します。

② 希望者への活動の場の提供に向けた体制整備

- 希望者に対してより多くのボランティア・地域活動のフィールド（実践の場）をコーディネートする体制を整えていきます。
- 人材育成のための講座等の修了生や、新宿未来創造財団の登録者など、活動希望者と地域のニーズを幅広く調整できるようなしくみを検討し構築します。
- シルバー人材センターにおける会員のいきがい及び社会参加の場として、社会貢献活動を積極的に実施します。

4 施策を支える事業

○新宿区第二次実行計画(平成24～27年度)の計画事業

(再掲)高齢者の社会参加といきがいつくりの拠点整備 (福祉部高齢者福祉課)		
ことぶき館を、ボランティアなど社会貢献活動の拠点とする新たな機能を加えた「シニア活動館」と、地域での仲間づくりや介護予防などに取り組む場となる「地域交流館」に整備していきます。	23年度末見込	26年度 目標
	シニア活動館 2館	シニア活動館 5館
生涯学習・地域人材交流ネットワーク制度の整備 (新宿未来創造財団・地域文化部生涯学習コミュニティ課)		
人材バンク(スポーツ指導者・文化等学習支援者・アーティスト・日本語学習ボランティア・通訳・歴史博物館友の会)制度を活用するとともに、地域の個性や特色を活かした生涯学習活動等が行えるような新たなしくみを検討します。	23年度末見込	26年度 目標
	人材バンク登録者の活動日数 2,700日	新たな仕組みによる人材バンクの活用

○その他の事業

事業名(担当課)	事業概要
高齢者福祉活動事業助成等 (福祉部高齢者福祉課)	高齢者の日常生活支援、介護予防、いきがいつくり及び健康づくり等に関する活動を行う人及び団体に対し、助成を行います。

事業名(担当課)	事業概要
高齢者クラブによる見守り活動 (福祉部高齢者福祉課)	高齢者クラブ会員が友愛活動として、概ね58歳以上の高齢者クラブ会員及び近隣に居住する病弱や寝たきり、一人暮らし高齢者の家庭等を定期的に訪問し、話し相手や日常生活の援助等の活動を実践することにより、高齢者の孤独の解消を図るとともに、高齢者による高齢者支援の推進を図ります。
介護支援ボランティア・ポイント事業 (福祉部高齢者福祉課) (新宿区社会福祉協議会)	18歳以上の区民が介護保険施設等でボランティア活動を行った場合に換金できるポイントを付与する事業を実施し、高齢者のいきがいきづくり及び高齢者を支えるためのしくみづくりを推進します。
ボランティア・市民活動センターの地域活動支援事業 (新宿区社会福祉協議会)	<p>ボランティア・市民活動参加の裾野を広げ、多様な世代・活動者への持続的な活動支援を行うため、総合相談、情報提供・紹介、ボランティア・市民活動状況の調査・情報収集、普及啓発事業や、講座・連絡会・交流会などの開催、各種団体との連絡調整を行います。</p> <p>ボランティア・市民活動に主体的中心的に関わる人材を育成し、多くの区民の参加と協働を促す仕掛けづくりをすすめていきます。</p> <p>また、身近な総合相談窓口・拠点として、各地区ボランティア・地域活動サポートコーナーにコーディネーターを配置し、地域に根ざした活動の基盤整備を図ります。</p>

5 指 標

指 標 名	現 状 (平成22年度)	目 標 (平成26年度)
介護支援ボランティア・ポイント事業の登録ボランティア数	231人	600人

施策3 就業等の支援

勤労者・仕事支援センターとシルバー人材センター等の連携により、多様化する高齢者のライフスタイルやニーズに対応した就労・就業を支援・促進します。

1 現 状

① 高齢者の就労環境

- 「高齢者の保健と福祉に関する調査」の第2号被保険者調査の結果では、65歳まで働きたいという回答が21.2%、元気な間はずっと働きたいという回答が37.9%となっています。

その背景には、年金制度改革に伴う支給開始年齢の引き上げなどの経済的な状況の変化だけでなく、元気な高齢者が増え、健康づくりやいきがいとして就労の継続を希望しているという側面もあると考えられます。シルバー人材センターの平成22年度の入会動機によると、いきがい・社会参加は25.5%、健康維持・増進25.1%、時間的余裕22.7%、経済的理由20.0%となっています。

- また、高年齢者無料職業紹介所（新宿わく☆ワーク）に登録した求職者の採用決定の割合は平成23年度60%を目標としていましたが、平成22年度実績は36.9%と目標を下回っています。これは、採用決定数は増えているものの就労を希望し登録する高齢者が増えたことによるものです。

② 新宿わく☆ワークと勤労者・仕事支援センターの一本化

- 区では、平成14年12月に新宿区社会福祉協議会に委託し、高年齢者無料職業紹介所（新宿わく☆ワーク）を開設し、地域に密着した就業先の確保に力を入れて、就業意欲のある高齢者の支援を行ってきました。さらに、平成21年4月に設立した勤労者・仕事支援センターが、平成23年度にシルバー人材センターとともに新宿ここ・から広場しごと棟に移転したのを機に、新宿わく☆ワークも統合し、地域型就労支援として一体的に事業を進め、雇用先の開拓、きめ細かい支援体制を整備するなど機能を強化しています。

③ シルバー人材センター

- シルバー人材センターは、今後需要が高まると考えられる家事援助や育児支援職種の事業開拓や独自事業の運営など新たな取組みを進めるとともに、会員数の拡大に努めています。シルバー人材センターの求職者数（受託件数）については、平成23年度に13,850件とすることを目標としていましたが、雇用情勢の悪化や内需の回復の遅れなどにより、平成22年度末時点では11,683件となっています。

4 ハローワークとの連携による「新宿就職サポートナビ」の設置

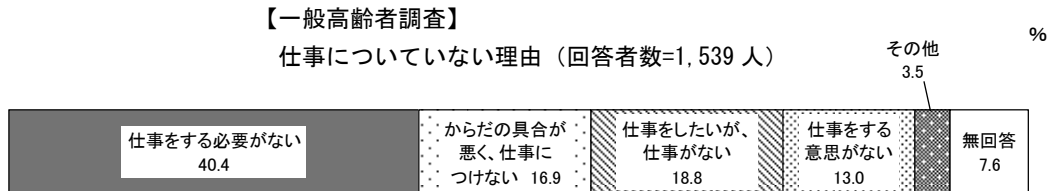
- 区は、平成23年7月に新宿職業安定所（ハローワーク）との連携により、区役所庁舎内に新宿区民を対象とした就労支援コーナー「新宿就職サポートナビ」を設置しました。

「新宿就職サポートナビ」は、高齢者を含む生活保護受給者・住宅手当受給者、児童扶養手当受給者に対する就労支援を行い、様々な職種や雇用形態による就業機会の拡大を積極的に推進する環境を整えています。

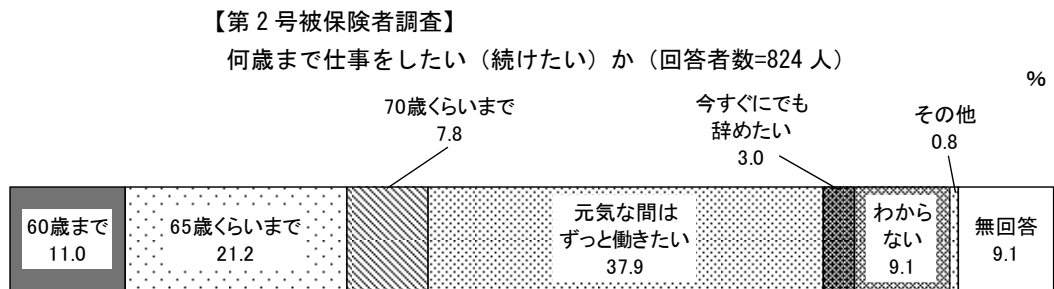
平成22年度「高齢者の保健と福祉に関する調査」結果に見る新宿区の現況

就業していない人の2割は仕事をする意欲あり

65歳以上の一般高齢者の職業については、「収入のある仕事にはついていない（57.2%）」と回答した人が約6割でした。仕事についていない人にその理由をたずねたところ、「仕事をしたが、仕事がない（18.8%）」という人が、約2割でした。【一般高齢者調査】



「あなたは何歳まで仕事をしたが（続けたい）ですか?」という質問に対しては、「元気な間はずっと働きたい（37.9%）」と回答した人が最も多く、次いで「65歳くらいまで（21.2%）」「60歳まで（11.0%）」「70歳くらいまで（7.8%）」となっています。【第2号被保険者調査】



2 課 題

- 知識や経験が豊富で、就業意欲の高い高齢者が働き続けられるように、多様な働き方に応じた就業機会の確保を進める必要があります。
- ハローワーク等関係機関との連携による求人開拓や情報提供を一層推進する必要があります。

- 勤労者・仕事支援センターの高年齢者無料職業紹介所（新宿わく☆ワーク）における希望する仕事と供給できる仕事のマッチングを促進する必要があります。
- シルバー人材センターは、会員数の伸び悩みがあります。更に周知度の向上を図る必要があります。また、就業機会の確保を進める必要があります。

3 今後の取組みの方向性

1 関係機関相互の連携強化

- 「新宿就職サポートナビ」の設置などハローワーク等関係機関と連携し、就業機会の拡大を図ります。

また、新宿ここ・から広場しごと棟内でともに事業展開する勤労者・仕事支援センターとシルバー人材センターが、高齢者の就業についてより効果的な支援ができるよう互いに連携していきます。

2 勤労者・仕事支援センターを通じた就業機会の拡大

- 勤労者・仕事支援センターでは、仕事を提供してくれる企業を開拓し、面接会を多く開催することにより、就業機会の拡大に努めます。また、求職者に対しては、セミナーなどを行い、レベルアップを図るよう努めます。

3 シルバー人材センターを通じた就業機会の拡大

- 会員の入会促進、周知により、シルバー人材センターを通じた就業機会を拡大します。
- 少子高齢化に対応する家事援助・育児支援サービス等に取り組むことによって、さらなる事業開拓を図ります。

4 施策を支える事業

○新宿区第二次実行計画(平成24～27年度)の計画事業

障害者、高齢者、若年非就業者等に対する総合的な就労支援 (地域文化部消費者支援等担当課、新宿区勤労者・仕事支援センター)		
	23年度末見込	26年度 目標
就労意欲はあっても現実的に就労に結びついていない障害者、高齢者、若年非就業者等に対して、相談から実習、就職準備、職業紹介などの効果的な就労支援のしくみを確立し、総合的な就労支援を行います。	高年齢者の就職者数 200人	高年齢者の就職者数 210人

○その他の事業

事業名(担当課)	事業概要
シルバー人材センターへの支援 (福祉部地域福祉課)	新宿区シルバー人材センターは、登録会員に対し、高齢者の経験や技能に応じた仕事の紹介や支援をします。また、区は就業機会の開拓・拡充に努める新宿区シルバー人材センターの運営費を助成します。

5 指 標

指 標 名	現 状 (平成22年度)	目 標 (平成26年度)
シルバー人材センターの受託件数	11,683件	13,000件

基本目標

2

健康づくり・介護予防を すすめます

施策 4 健康づくりの促進

施策 5 介護予防の推進

自分自身が健康であると感じることは、地域の中での自立した生活や様々な活動を継続していくことにつながると考え指標としました。

指 標 名	現状(平成22年度)	目標(平成26年度)
【調 査】 健康と回答した高齢者の割合 (主観的健康観／一般高齢者調査)	70.9%	75%

注)【調査】とあるのは、「高齢者の保健と福祉に関する調査」の調査項目を表します。

施策4 健康づくりの促進

高齢期特有のこころや体の特徴をふまえて、高齢者の健康づくりを支援するために、様々な機会を提供していきます。健康診査を通じて生活習慣病の予防や早期発見と適切な健康管理ができる体制づくりとともに、高齢者のためのこころのケアなどにも取り組んでいきます。

1 現 状

① 健康診査等の状況から

- 「高齢者の保健と福祉に関する調査」によると65歳以上の一般高齢者のうち、現在治療中の病気がある人は70%を超えています。また、治療中の病気として約50%が高血圧症と回答しており、続いて高脂血症、糖尿病となっています。特に、糖尿病は、病状の進行により身体障害をもたらし、高額な医療費を必要とすることがあります。
- 一方、平成22年度の新宿区の特定健康診査受診率（法定報告）は、31.5%と低い状況にあります。
- 70歳で22本以上の歯をもつ人の割合は、73.9%で、60歳、70歳で重度の歯周病にかかっている割合は、5割以上と高くなっています（平成22年度新宿区歯科健康診査より）。
- 65歳以上のひとり暮らし高齢者では、友人、知人などと一緒に食事をする頻度が「月1回以下」は36.7%となっています（健康づくり区民意識調査より）。
- 高齢者のうち毎日外出する人の割合については、平成23年度に58%を目標としていましたが、「高齢者の保健と福祉に関する調査」によると、64.2%と平成19年度の調査結果である55.6%を大きく上回り、目標を達成しています。

② こころの健康

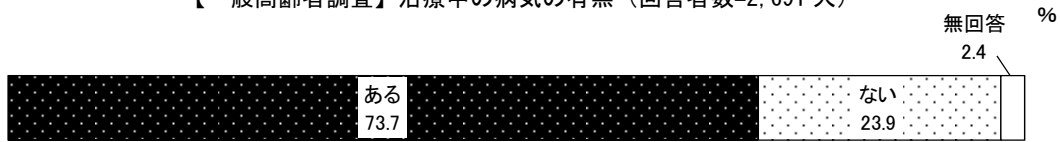
- 高齢期のうつへの取組みとして、健診票送付時にうつの早期発見・早期対応や相談窓口に関するリーフレットを同封し、普及啓発を行っています。
- こころの健康について、保健師による相談とともに専門医による「精神保健相談」や「うつ専門相談」を行い、受診や療養について助言をしています。

平成 22 年度「高齢者の保健と福祉に関する調査」結果に見る新宿区の現況

治療中の病気がある 65 歳以上は 7 割超

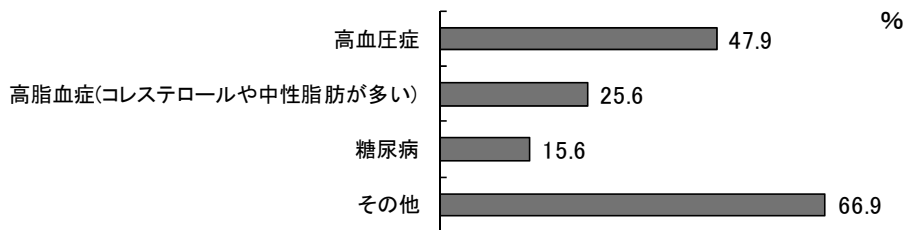
65 歳以上の一般高齢者のうち、現在治療中の病気がある人は、7 割を超えています。【一般高齢者調査】

【一般高齢者調査】治療中の病気の有無（回答者数=2,691 人）



また、治療中の病気については、「高血圧症（47.9%）」、「高脂血症※（コレステロールや中性脂肪が多い）（25.6%）」、「糖尿病（15.6%）」など、生活習慣病が高い割合を示しています。【一般高齢者調査】

【一般高齢者調査】治療中の病気の種類（複数回答）（回答者数=1,968 人）



※「高脂血症」は、現在、「脂質異常症」という名称が使われることがあります。

一般高齢者の 2 割弱に心のケアが必要

うつ傾向を把握する「こころの健康状況」の質問で、3 項目以上に「はい」と答えた人の割合は 17.5%です。【一般高齢者調査】

【一般高齢者調査】

こころの健康状況（5 つの項目で「はい」と答えた数の合計）（回答者数=2,508 人）

合計	0 個	1 個	2 個	3 個	4 個	5 個
%	48.5	19.6	14.4	7.6	5.2	4.7

17.5%

<こころの健康状況 質問項目>

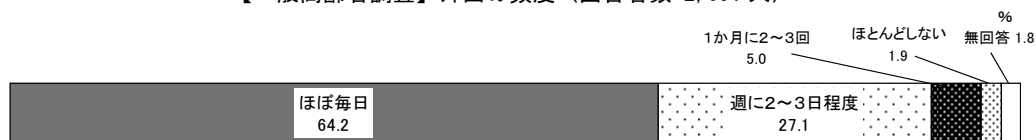
(ここ2週間)毎日の生活に充実感がない
 (ここ2週間)これまで楽しんでやれたことが、楽しめなくなった
 (ここ2週間)以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる
 (ここ2週間)自分は役に立つ人間だと思えない
 (ここ2週間)わけもなく疲れたような感じがする

外出頻度は高い傾向

一般高齢者で「ほぼ毎日」外出すると回答した人の割合は、64.2%であり、「週に 2～3 日程度」と回答した人と合わせると、9 割以上の人が積極的に外出してい

る状況にあります。【一般高齢者調査】

【一般高齢者調査】外出の頻度（回答者数=2,691人）



2 課題

- 生活習慣病などを予防し早期に適切な治療を受けるために、高齢者にも定期的に健康診査を受けてもらうことが必要です。
- 生活習慣病の治療中でも、悪化を防ぐための健康づくりの取組みが必要です。
- 生活習慣病の一つである歯周病についても治療や自己管理が継続できるよう動機づけを図り、歯の喪失による口腔機能の低下を予防する必要があります。また、誤嚥性肺炎の予防のために、口腔ケアの重要性を普及することも必要です。
- ひとり暮らしの高齢者は、人と食事をする機会が少なく、食事内容や食を通じたコミュニケーションの充実など、高齢になっても食を楽しめるような支援の取組みが必要です。
- 定年退職や子の独立など生活環境や体調が大きく変わる60歳前後の方のこころとからだに対して支援が必要です。

3 今後の取組みの方向性

1 高齢期の特徴に合わせた健康づくり対策の推進

- 高齢期特有のこころやからだの特徴をふまえ、高齢者が健康づくりに関心を持って取り組めるよう、元気館事業の推進やいきいきウオーク新宿等の事業により様々な機会を積極的に提供します。
- 健康診査やがん検診の受診を促進し、生活習慣病などの疾病の予防や早期発見とともに、早期の適切な治療につなげていきます。
- 生活習慣病の悪化予防を図るために健康教育や健康相談などの取組みをすすめていきます。特に血糖値が高い方に対する悪化予防に力を入れていきます。
- 60歳前後の区民を中心に、健やかに地域での生活を続けていけるよう、健康づくりを行うきっかけとなる講座を新たに実施します。
- 歯周病による歯の喪失、口腔機能の低下を予防するために歯科健康診査を実施するとともに、口腔ケアを普及し、誤嚥性肺炎の予防につなげていきます。また、高齢者を対象に入れ歯や口腔乾燥症に関する専門相談を実施します。
- うつの早期発見・早期対応のための知識の普及啓発をすすめます。また、うつ傾向など精神面への支援が必要な方への相談を実施します。

4 施策を支える事業

事業名(担当課)	事業概要
いきいきハイキング (福祉部高齢者福祉課)	区内在住の歩行等健康に自信のある60歳以上の高齢者を東京近県の秋の野山に誘い、ハイキング等を行うことで、高齢者交流の場を提供し、あわせて健康保持に役立てます。
ふれあい入浴 (福祉部高齢者福祉課)	広々とした公衆浴場での入浴機会を提供することにより、健康増進と交流・ふれあいを図ることを目的に、「新宿区ふれあい入浴証」を交付します。
湯ゆう健康教室 (福祉部高齢者福祉課)	公衆浴場を「地域のふれあいの場」として位置づけ、専門職による健康に関する話や実技等を取り入れ、高齢者相互の交流機会及び外出機会の増加に伴う介護予防を推進します。
元気館事業の推進 (健康部健康推進課)	区民の運動習慣のきっかけをつくり、生活習慣病予防(メタボリックシンドローム対策)をすすめるため、各種講座や教室を開催します。 また、運動機能を高めるための筋力向上事業を行います。
いきいきウオーク新宿 (健康部健康推進課)	高齢者の健康いきがづくりや介護予防を推進するため地域団体との協働によりウォーキングの機会を提供します。
健康手帳の交付 (健康部健康推進課)	健康保持のために必要な事項を掲載し、自らの健康管理と適切な医療に役立つ健康手帳を、希望する人に交付します。
健康診査 (健康部健康推進課)	生活習慣病の予防や病気を早期発見し、健康の保持増進のために、健康診査を行います。
がん検診 (健康部健康推進課)	がんの早期発見、早期治療のため、がん検診を行います。
歯科健康診査 (健康部健康推進課)	歯周病の予防や早期発見、早期治療のために、歯科健康診査を行います。また、疾病を改善し、歯の喪失防止、口腔機能の維持・向上のために口腔ケアをはじめとする指導や助言を行います。
健康相談 (健康部健康推進課) (健康部保健センター)	生活習慣病の予防や病気の悪化防止など、健康の保持増進を図るために、個別相談を実施し必要な指導や助言を行います。
精神保健講演会 (健康部保健予防課)	専門家による講演会を開催し、うつ病などこころの健康に関する正しい知識の普及啓発を行います。
普及啓発用リーフレット作成 (健康部保健予防課)	区民がうつ病・認知症(若年性認知症を含む)に早く気づき、対応していけるように、病気の知識と対応方法等についてのリーフレットを作成し、健診案内とあわせて配布します。

事業名(担当課)	事業概要
精神保健相談 (うつ専門相談を含む) (健康部保健センター)	こころの病気に関して、精神科医師と保健師が相談、助言を行います。
健康教育 (健康部保健センター)	講演会や講習会等を通じて生活習慣病の予防やがん予防の指導や支援、知識の普及啓発を行います。
骨粗しょう症予防検診 (健康部保健センター)	骨粗しょう症の予防・早期発見のために骨密度の測定を行います。検診の結果、医療や食生活改善などが必要と判定された人に対し、指導や助言を行います。
歯科衛生相談(専門相談) (健康部保健センター)	入れ歯相談や口腔乾燥症等高齢者に対応した歯科専門相談を行います。指導や助言を行うことにより、口腔機能の維持・向上を図り生涯にわたって生活の質の向上を目指します。
【新規】60歳からのこころとからだのメンテナンス講座 (健康部保健センター)	すこやかな高齢期を迎えるために、心身のメンテナンス方法等を学び、健康づくりを行うきっかけとなる講座を実施します。
レガス健康づくり事業 (レガスポ！) (新宿未来創造財団)	区民の健康・体力づくりを支援し、スポーツ活動を身近なものとしていくため、「いつでも」「だれでも」気軽に参加できる講座を実施します。
団体等と連携したスポーツ普及事業 (①健康ウォーキング ②夏休みラジオ体操) (新宿未来創造財団)	地域団体等と連携してスポーツ教室や大会などを実施・後援し、多様なスポーツに気軽に取り組む機会を提供し、スポーツ習慣の定着や健康づくりを行います。
新宿シティハーフマラソン・ 区民健康マラソン (新宿未来創造財団)	「走る」という身近なスポーツを通して、区民の心身の健康・体力づくりの推進及び生涯スポーツの実現に寄与します。
運動施設の管理運営 (新宿未来創造財団)	区民のスポーツ、レクリエーション活動及び相互交流の場として施設を提供することにより、区民の生涯活動を推進し、健康で快適な生活を支援します。

5 指 標

指 標 名	現 状 (平成22年度)	目 標 (平成26年度)
特定健康診査受診率の 向上	31.5%	特定健康診査等実施 計画 ^(*) に合わせる (平成24年度 65%)
70歳で22本以上の歯 を持つ人の割合	73.9%	78%

(*) 新宿区国民健康保険の保険者として、新宿区が特定健康診査・特定保健指導を行うために計画するもの。

トピックス

60歳からのこころとからだのメンテナンス講座

定年退職や子の独立など生活環境や体調が大きく変わる時期でもある60歳前後の区民を中心に、心身の変化の特徴やそのメンテナンス方法を学ぶ中で、自らの生活習慣を振り返り健康づくりを行うきっかけとなる講座を新たに実施します。

60歳前後

生活環境・ライフスタイルの変化と心身の衰えの自覚

- ・今までの生活習慣の継続が出来ない
- ・様々な変化を受容できない

○生活環境等の変化が健康リスクの拡大につながらないよう、その変化に応じ、より良い生活習慣などを学びます

○心身の身体能力の減退などを受容し、高齢期に備えます

<事業のポイント>

- 実習・実技と講義を組み合わせた4日制の体験型講座（保健センターで実施）
- ・「高齢期に向かうこころの健康」についての講義とグループワーク等
- ・生活習慣を振り返り、食生活への関心を高め、改善につなげる工夫等
- ・自分の歯で高齢期を過ごすためのおいいきいきプログラム
- ・若さを保つ正しい姿勢や歩き方等の実践

平成18年度の介護保険法改正により、「介護予防事業」は、区市町村の実施する地域支援事業^{※8}の一つとして位置づけられました。

介護が必要となる状態をできる限り防ぐこと、要支援の状態であっても現在の状態の維持と改善を図るための支援を進めています。

1 現 状

① 介護予防事業の取組み

- 区では、65歳以上で介護保険の要支援・要介護の認定を受けていない方を中心に、健康診査と同時に生活機能評価（日常生活を維持するために必要な心身の能力が衰えていないかを測る評価）を行っています。なお、生活機能評価は基本チェックリスト^{※9}により行います。生活機能評価の結果、介護予防への取組みが望ましいと判断された高齢者を2次予防事業対象者（新宿区名称「パワーアップ高齢者」）とし、要介護状態への移行を予防するために、運動、口腔、栄養、総合改善と改善内容に応じた教室事業を行っています。
- 介護予防に関心がある高齢者の割合については平成23年度に80%を目標としていましたが、「高齢者の保健と福祉に関する調査」結果によると、「とても関心がある（22.0%）」「関心がある（52.9%）」を合わせ74.9%であり、平成19年度の調査結果である74.4%とほぼ同じ数値となっています。
- 介護予防は継続することが重要であることから、区では、介護予防教室修了者による自主グループや地域で介護予防の取組みを行っているグループに対して出前講座を行うほか、新宿区の介護予防体操「新宿いきいき体操」の普及を行い、日常生活の中で介護予防に取り組むまちづくりを進めています。

② 介護予防ケアマネジメント

- 要支援1、2の認定を受け、介護予防サービスを必要とする予防給付の対象者に、要支援状態の改善や要介護にならないための介護予防ケアプランを作成し、介護予防サービスの提供を行っています。

※8 詳細は第4章第4節参照。

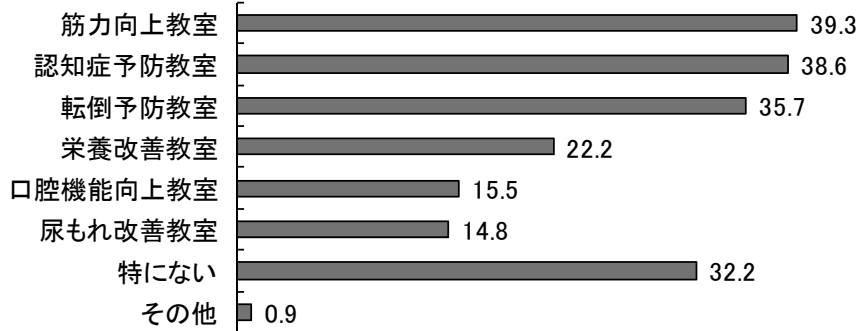
※9 詳細は資料編179ページ参照。

平成22年度「高齢者の保健と福祉に関する調査」結果に見る新宿区の現況

参加したい介護予防教室は筋力向上、認知症予防、転倒防止

介護予防のために通ってみたい教室では、「筋力向上教室（39.3%）」と回答した人が最も多く、続いて「認知症予防教室（38.6%）」「転倒予防教室（35.7%）」の順となっています。一方、「特にない」と回答した人は32.2%でした。【一般高齢者調査】

【一般高齢者調査】介護予防のために通ってみたい教室（複数回答）（回答者数=2,423人）
%



2 課 題

- 介護予防教室参加実績はほぼ横ばいの状況ですが、介護予防は高齢者自身が主体的に取り組むことが重要であり、参加希望者の多い一般高齢者対象教室についての検討が必要です。
- 介護予防は状態が悪くなる前の元気なうちから取り組む必要があるため、介護予防についての普及啓発事業を継続し、介護予防への関心を高める必要があります。
- 介護予防は、高齢者自身が主体的に取り組むことが大切であり、介護予防教室修了者が自主活動グループへ移行継続するための側面的支援として、活動場所の確保と介護予防についての具体的な情報提供が必要です。
- 新宿区介護予防体操「新宿いきいき体操」のさらなる普及が必要です。区民の組織である新宿いきいき体操サポーターの養成と活動の充実を図り、地域に根差した介護予防活動の普及が必要です。
- 介護予防のためには、要支援の人への個々の状況に即した適切な介護予防ケアマネジメントを行うことが重要であり、高齢者総合相談センターの介護予防ケアマネジメントの質の向上が必要です。また、基幹型高齢者総合相談センターによる地域の高齢者総合相談センターのケアマネジメント支援の充実が必要です。

3 今後の取組みの方向性

1 介護予防自主活動の展開と介護予防事業の推進

- 要介護・要支援に移行するリスクの高い高齢者（2次予防事業対象者）の把握のため、引き続き健康診査等で行う生活機能評価結果から対象者を選定し、介護予防事業への参加勧奨を行います。
また、要望の多い一般高齢者施策の充実を図り、元気なうちからの介護予防に取り組みます。
- 介護予防についての普及啓発を推進し、介護予防への関心を高めていきます。
- 介護予防教室の修了者による自主グループ活動への移行を図ることで、介護予防の継続を支援します。また、自主グループの継続を支援するために、介護予防の専門講師派遣を行います。
- 新宿いきいき体操を行う区民からなる新宿いきいき体操サポーター制度を充実させ、介護予防教室等での普及活動等を行います。今後も、新宿いきいき体操を中心とした介護予防自主活動を、地域交流館、シニア活動館等、地域に根差した場所で展開していきます。

2 介護予防ケアマネジメントの充実

- 高齢者総合相談センターへの介護予防ケアマネジメント研修を充実し、ケアマネジメント能力の標準化を図ります。
- 民間ケアマネジャーの支援と指導の充実を図ります。

4 施策を支える事業

事業名(担当課)	事業概要
介護予防普及啓発事業 (福祉部高齢者福祉課)	区民及び関係者を対象に介護予防普及啓発用パンフレットの配布及び外部講師による講演会を開催します。 要介護認定を受けていない高齢者を対象に、認知症予防・尿失禁予防教室等を開催します。 新宿区介護予防体操「新宿いきいき体操」を介護予防普及活動を行う区民「新宿いきいき体操サポーター」と協働して行います。
地域介護予防活動支援事業 (福祉部高齢者福祉課)	介護予防教室修了者や介護予防に関心のある高齢者に対して自主活動化を支援し、介護予防に関する知識や技術の普及啓発を図るとともに、継続した介護予防の取組みが行えるようにします。

事業名(担当課)	事業概要
パワーアップ高齢者選定事業 (福祉部高齢者福祉課)	<p>要介護・要支援状態に移行するリスクの高い高齢者(2次予防事業対象者)の把握のため、健康診査等で行う生活機能評価結果から対象者を選定し、介護予防事業に取り組む勧奨通知を発送します。</p> <p>また、希望者に介護予防プランの作成、介護予防教室事業への参加を促します。</p>
介護予防ケアプラン作成 (福祉部高齢者福祉課)	<p>要支援1、要支援2の認定を受け、介護予防サービスが必要とする予防給付の対象者に、要支援状態の改善や要介護にならないための介護予防ケアプランを作成します。</p>
介護予防ケアマネジメントの質の向上 (福祉部高齢者福祉課)	<p>国や東京都等が実施する介護予防ケアマネジメント指導者研修等に高齢者総合相談センターの職員を派遣し、介護予防ケアマネジメントの質の向上を図ります。また、区は、地域の高齢者総合相談センターの職員等に対し、適宜、実務者研修を行うとともに、相談支援体制を整え、介護予防ケアマネジメントの適切な実施を支援します。</p>
介護予防教室 (福祉部高齢者福祉課)	<p>要介護・要支援の認定を受けていない65歳以上の高齢者で、介護予防への取組みが必要と判定された人に対して、要介護状態への移行を予防するための、運動機能向上教室・口腔機能向上教室・低栄養改善教室を開催します。</p>
介護予防事業の評価 (福祉部高齢者福祉課)	<p>パワーアップ高齢者(2次予防事業対象者)及び一般高齢者に対する介護予防事業が効果的かつ適切に行われているかを評価します。</p>
認知症・うつ・閉じこもり予防事業 (福祉部高齢者福祉課)	<p>認知症やうつ・閉じこもりの早期発見・早期対応のために、健康診査とあわせて行う基本チェックリストを活用し、認知症・うつ・閉じこもりの取組みが必要と判定された人を対象に、予防事業を実施します。</p>

5 指 標

指 標 名	現 状 (平成22年度)	目 標 (平成26年度)
【調 査】 介護予防に関心のある高齢者の割合 (一般高齢者調査)	74.9%	80%
介護予防教室定員充足率	83.7%	85%

注)【調査】とあるのは、「高齢者の保健と福祉に関する調査」の調査項目を表します。

トピックス

新宿いきいき体操普及啓発事業

区では、介護予防のまちづくりに向け、有志の区民と協働して、誰でもどこでも取り組める新宿区介護予防体操「新宿いきいき体操」を平成20年度に制作し、普及を行っています。

[新宿いきいき体操サポーター]

区が行う「新宿いきいき体操サポーター養成セミナー」を受講した有志の区民「新宿いきいき体操サポーター」が、体操の普及活動を行っています。平成22年度には、サポーターを中心とした38グループが、地域で継続的に活動しています。

[新宿いきいき体操講習会等の開催]

どなたでも参加できる「新宿いきいき体操講習会」を各地域センターで年1回(年間計10回)開催し、新宿いきいき体操サポーターが指導に当たっています。

地域の介護予防運動グループが、年間を通じて「新宿いきいき体操」を取り入れた活動を行っており、区は、サポーターの派遣等により、区民の活動を支援しています。



平成23年11月 介護の日に披露しました。



平成22年新宿芸術天国に参加しました。

